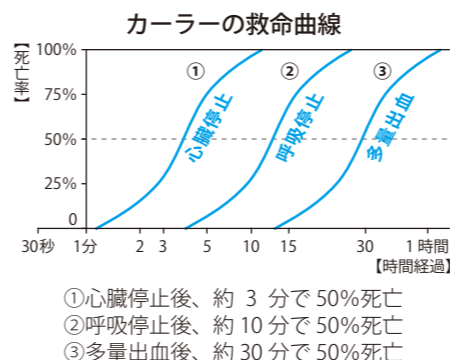


この日は救急業務と救急医療について、皆さんに正しく認識してもらいたいという願いを込めて定められました。救急現場に居合わせたとき、迅速な対応が傷病者の救命率を大きく左右します。救うことができる命を守るため、AEDを使った心肺蘇生法を紹介します。

迅速な対応が命を救う

左のグラフは心臓停止、呼吸停止、多量出血の状態となったときの時間経過と死亡率の関係を示したものです。

もし傷病者に何も救命手当が行われなかった場合、心臓停止後約3分、呼吸停止後約10分、多量出血後約30分で死亡率は50パーセントを超えます。救急車の現場への到着時間は平均8・3分(全国平均)とされています。救急車が到着するまでの対応が傷病者の救命率を大きく左右します。



4 心臓マッサージ(胸骨圧迫)

胸の真ん中に手の付け根を置き両手を重ねて、肘を真っすぐ伸ばし、少なくとも1分間に100回以上の速さ(5秒間に8回以上)で、胸が少なくとも5cm沈む程度(小児・乳児は胸の厚さの約3分の1)、30回強く圧迫をします。
☆周りに協力者がいる場合は数を数えてもらったり、疲れたら交代してもらいましょう。強く、速く、中断しないことが重要です。



血液などにより感染の危険がある場合や訓練を受けていない場合はAEDが到着するまで、心臓マッサージを続けます。

5 気道確保・人工呼吸

●気道確保
傷病者を仰向けに寝かせた状態で片方の手で額を押さえながら、もう片方の人差し指と中指で顎を上を持ち上げます。(口の中に異物があれば除去します。)

●人工呼吸
額に当てている手の親指と人差し指で鼻をつまみ、胸部がふくらむよう息を約1秒吹き込みます。(できるだけ感染防護具を使ってください。)
2回繰り返し、心臓マッサージを再開します。
☆AEDが到着するまで、心臓マッサージ30回と人工呼吸2回を交互に繰り返します。

約1秒かけて、胸の上がりが見える程度の量を2回吹き込みます。



6 AEDによる除細動(電気ショック)

AEDが到着したら電源を入れます。傷病者に電極パッドを装着し、心電図解析を行い、電気ショックの必要性を確認します。(機械の音声ガイドに従って操作します。)
ショックボタンを押すときは危険ですので、傷病者の周囲から離れ、触れないようにします。
☆電気ショック後はただちに心臓マッサージと人工呼吸を再開します。



救急車到着

救急車が到着し救急隊員に引き継ぐまでは、正常な呼吸や目的のある仕草など、明らかに心拍再開と判断できる反応があるまでは、心臓マッサージを続けます。



心肺蘇生法の手順

1 周囲の安全確認・意識確認

●周囲の安全確認
傷病者の周囲の安全を確認し、道路上など危険な場所の場合は、安全な場所に移します。

●意識確認
「大丈夫ですか」など、耳元で問いかけながら、肩(鎖骨の辺り)を叩き、意識の有無を確認します。反応があった場合は、傷病者の訴えを聞き、必要な応急手当をします。



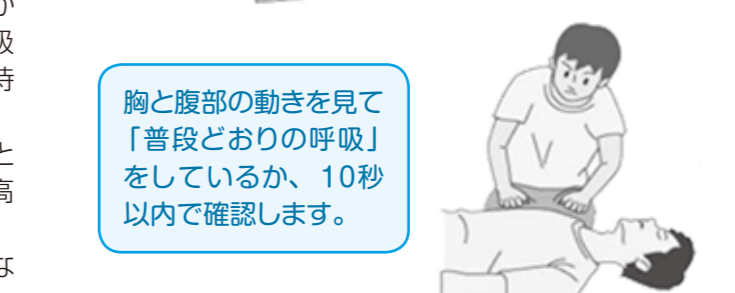
2 大声で助けを呼び、119番通報とAEDの手配を依頼する

協力者に119番通報により、救急車の手配をしてもらい、同時にAEDを持ってきてもらいます。誰もいなければ、まず119番通報を行います。☆一人でやろうとせず、周りの人の協力を受けましょう。



3 呼吸の確認

見た範囲で規則的で正常な呼吸をしているかを10秒以内で確認します。(普段どおりの呼吸があれば横向きにして気道を確保し、救急車を待ちます。)
不自然な呼吸(しゃくりあげるようなゆっくりとした不規則な呼吸など)は心停止の可能性が高いので、見逃さないようにしましょう。
☆正常な呼吸の確認ができない場合は、「呼吸なし」と判断します。10秒以内の判断が重要です。



救急の日 2015 in ゆめタウン八代

八代広域消防本部では救急の日に伴いイベントを行います。楽しく応急手当を体験しましょう!

- ◆日時 9月5日(土) 14時~16時
- ◆場所 ゆめタウン 八代店(八代市建馬町3番1号)
- ◆内容 ①訓練用人形およびAEDを用いた救命処置の体験
②住宅用火災警報器パネル展示および資料配布
③防火衣装着体験コーナー
④はしご車搭乗体験(救命処置体験者先着40人に搭乗券を配布)
※はしご車登場体験は小学4年生以上、荒天時中止
⑤消防音楽隊演奏

